

## 1 1) 富田の廃寺

### (1) 長福寺 (富田町4丁目)

長福寺は清蓮寺が創建されるまでは清水家の菩提寺で、サロンの役割をしていた。

### (2) 永照寺 (富田町5丁目)

文明3年(1471年)開基、堪了は、好田 宗信と協力し造営する。その後消失う、元禄9年(1696年)再建、再度天保8年(1837年)再建。境内106坪

幼稚園を経営されていましたが今はマンションになっています。

前に「蓮如の腰掛石」があります。

腰掛石は、蓮如上人が立ち寄られたところに多く存在します。

又、好田家は、京都の裏千家が傾いたとき、12代目がこの地に住み茶道の普及の拠点とした。

富田は、金沢、名古屋と並ぶ文化の“まち”であった。

### (3) 宝積寺 (富田町6丁目)

西富田町のお寺

### (4) 正興寺 (しょうこうじ) (富田町6丁目)

この寺は、聖天皇(701~756年)東大寺の大仏開眼のころ、750年ごろ東大寺の支院(末寺)として創建された。

本尊は、行基(668~749年)の作と江戸時代に書かれていました。

教行寺が、蓮如上人により創建され、浄土真宗の檀家さんが移り、正興寺は、明治7年廃寺となりました。

薬師如来とお不動さんは、慶瑞寺に移された。

八坂神社は、明治40年頃に三輪神社に移された。

### (5) 億念寺 (富田町4丁目)

本照寺の寺末寺

### (6) 八幡神社 (富田町6丁目)

明治40年頃に三輪神社に移された。



※明治40年(1907年)に「一村一社」の政府の命により、昭和台の天神社、西富田の八幡社は、三輪神社の絵馬所の奥に並んで祀られています。